

記載例 3

別記様式第四（第八条関係）

① 制限外積載 設備外積載 許 可 申 請 書 荷台乗車				
③ 警察署長 殿			② 平成 年 月 日	
			住所 ④ 申請者 氏名 ⑤印	
申請者の免許の種類	⑤	免許証番号	⑥	
車 両 の 種 類	⑦	番号標に表示されている番号	⑧	
車 両 の 諸 元	長 さ	幅	高 さ	最大積載重量
	⑨ m	m	m	k g
運 搬 品 名	⑩			
制限を超える大きさ 又は重量	長 さ	幅	高 さ	重 量
	⑪ m	m	m	k g
制限を超える積載の 方法	前	後	左	右
	⑫ m	m	m	m
設 備 外 積 載 の 場 所		荷 台 に 乗 せ る 人 員		
⑬		⑭		
運 転 の 期 間	⑮ 年 月 日から		年 月 日まで	
運 転 経 路	出 発 地	経 由 地	目 的 地	
	⑯			
	通行する道路			
第 号 ⑰ 制 限 外 許 可 証 上記のとおり許可する。ただし、次の条件に従うこと。				
条 件				
年 月 日 警 察 署 長 印				

備考 1 申請者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
 2 用紙の大きさは、日本工業規格 A 列 4 番とする。

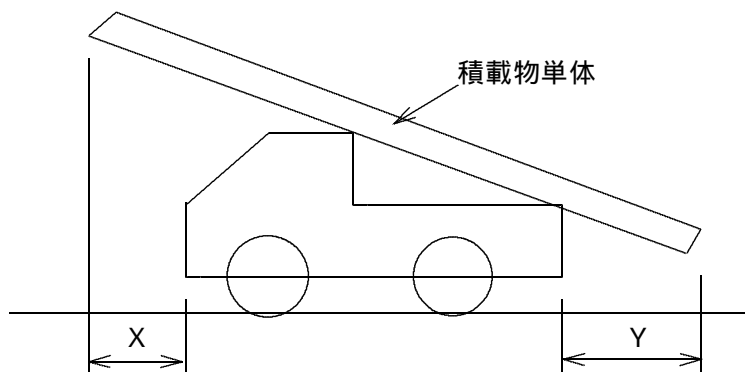
記入要領・注意事項

- ① 「申請書名」
該当する項目を で囲みます。
設備外積載と荷台乗車が重複する場合など項目が複数となる場合は、それぞれの項目を囲みます。
- ② 「申請年月日」
申請の日を記載します。
- ③ 「申請書の提出先」
出発地を管轄する警察署名を記載します。
- ④ 「申請者」
申請車両の運転者が申請者となります。
申請者本人が氏名欄に署名して申請する場合は、押印は必要ありません。
- ⑤ 「申請者の免許の種類」
申請者（運転者）の免許の種類を記載します。
例：普通、大型2種等
- ⑥ 「免許証番号」
申請者（運転者）の免許証番号を記載します。（免許証の写しの添付でも可）
- ⑦ 「車両の種類」
申請車両の種別を記載します。
例：普通乗用自動車、大型貨物自動車等
トレーラについては、セミトレーラ、フルトレーラ、ポールトレーラ
- ⑧ 「番号標に表示されている番号」
自動車登録番号（ナンバー）を記載します。
トレーラの場合は、前後（トラクタ、トレーラ）のナンバーを記載します。
- ⑨ 「車両の諸元」
自動車検査証（車検証）上の自動車の長さ、幅、高さ、最大積載量を記載します。
トレーラの場合は、連結した状態で記載します。
- ⑩ 「運搬品名」
運搬品名を具体的に記載します。
- ⑪ 「制限を超える大きさ又は重量」 下記【補足】の図を参照してください。
実際に制限を超える部分の大きさ等を記載します。
「長さ」欄：「積載物の長さ - （車長 × 1.1 倍）」の値を記載します。
「幅」 欄：車体幅からはみ出る長さを記載します。
「高さ」欄：積載物を積載した状態で、高さが 3.8 m（高さ指定道路を走行の場合は 4.1 m）を
超える場合は、その超える長さを記載します。
- ⑫ 「制限を超える積載の方法」 下記【補足】の図を参照してください。
車体からはみ出している長さを正確に記載します。
「前」「後」欄：「前後それぞれはみ出る部分の長さ - （車長 × 0.1）」の値を記載します。
「左」「右」欄：車体から左右それぞれはみ出している部分の長さを記載します。
- ⑬ 「設備外積載の場所」
積載する場所を具体的に記載します。
例：屋根の上等

- ⑭ 「荷台に乗せる人員」
荷台に乗せる人員を記載します。
- ⑮ 「運転の期間」
実際に運行に要する期間を記載します。
必要により、運搬日程表等を添付してください。
- ⑯ 「運転経路」
住所、経由地、目標、道路名等具体的に記載します。
必要により、経路図等を添付し区間を明らかにします。
- ⑰ 「制限外許可証」
ここは警察署において記載する欄なので、申請者は記載しないでください。

【補足】

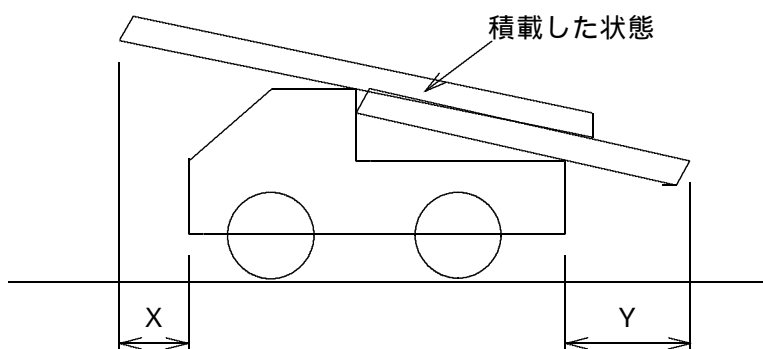
- ⑪ 制限を超える大きさ



・「 $X + Y$ 」が「車長 $\times 0.1$ 」以下なら、許可は必要ありません。

ただし、積載物単体の大きさとしては制限内であっても、積載方法によって、前又は後部に「車長 $\times 0.1$ 」を超えてはみ出る場合は、積載の方法としての許可が必要となります。

- ⑫ 制限を超える積載の方法



・「 X 」「 Y 」それぞれが「車長 $\times 0.1$ 」以下なら、許可は必要ありません。どちらかでも超える場合は許可が必要となります。